

飯能新校基本計画検討委員会（第2回）議事録

日時 令和2年7月8日（水）15：50～17：30

場所 飯能高校会議室

出席委員 加藤委員長・廣瀬副委員長・澤畑副委員長・松本委員・細谷委員
清水（繁）委員・清水（直）委員・三上委員・青田委員・内山委員
竹内委員・筒井委員・橋本委員・植村委員・浅見委員・大塚委員
郷司委員・宮木委員（代理）・佐藤委員・甲斐委員

協議 「飯能新校基本計画骨子（案）」について

○主な意見・質問・回答

	主な意見・質問・回答
1	どういう学校にしていくか、どのような生徒を集めるのがいいのかなど新校の青写真を明確にした上で、探究的な活動、ICTを使った教育、地域との協働など最先端の取組を目指し、「探究的な学びのモデル校」となるよう考えていきたい。
2	中堅大学をボリュームゾーンとした進学校となるよう、総合的な探究の時間やICT等でアピールするなど、これまでにない魅力ある学校として打ち出していきたい。
3	「地域と協働した」学習は異論がないので進めていきたい。生徒募集は地域に限定するのではなく、他の地域からも生徒を集められるような表現となるよう工夫すべきではないか。
4	基本的な生活習慣や身だしなみなどは当然指導していくものだが、それよりも自分の自立した考えで発展的な行動ができる生徒が集まり、「自律的な行動を支援する」学校となるような表現となるよう工夫していくのはどうか。
5	探究的な学びが少人数で活動できるようにしてほしい。全国には少人数活動の実施例がある。そのような学校に近づけられるよう施設などの整備を行い、様々な活動に少人数で活動する探究的な学びを実践し、「探究的な学びのモデル校」となるよう目指していきたい。
6	総合的な探究の時間で全国から視察団が来るような学校になるよう目標を立て、両校が一緒になってつくっていきたい。少人数での探究活動が学校の売りとなるよう、骨子（案）に文言を入れてはどうか。
7	探究的な学びの成果を市民や県民に向けて発表するためには、日々の鍛錬が必要となる。実現するためには環境の整備や人員の配置等様々な工夫等が必要となるのではないか。

8	ICTについては今後充実させることで新校の魅力の1つとなっ てほしい。学校説明会に来る中学生や保護者がグローバルやICTを イメージできる学校となるようにしてほしい。
9	探究的な学びや協調的な学びはICTを活用しなくてもできるこ とはあるので、「ICTを活用した」ではなく「ICTの活用や」とい う表現に変えるのはどうか。
10	「一人一人の目標を実現」は包括的な表現であるので、これで就職 指導を含めた多様な進路に対応しつつ、中堅大学をボリュームゾー ンにした進路指導を重視するとしたらどうか。
11	「地域の人材によるキャリアガイダンスや面接指導」は就職指導の みを想定した表現になっているので、工夫した方が良いのではない か。
12	「地域の人材によるキャリアガイダンスや面接指導」を「地域をは じめ学校外の様々な分野で活躍する社会人によるキャリアガイダ ンス等を実施し、勤労観や職業観を身につけさせる」として、働くこ との意義、そのためにはどういう進路選択をするのかを結び付けられ るような表現にするのはどうか。
13	これまで協議した進学指導を重視した学校を目指すことを踏まえ ると、様々な面での工夫が必要となる。また、探究的な学びにより大 学進学希望者をAOや推薦入試で合格させるだけでなく、一般入試で も合格を勝ち取る生徒を多く出せるような学校にしなければならない と思う。
14	その他の文言ではハード面の充実が読み取れないので、表現を明確 に書いてしまった方がいいのではないか。
15	骨子(案)の「魅力が一目で分かるリーフレット」のように新校が イメージしやすいものを作っていきたい。そうすることで目的意識の ある意欲的な生徒を集め、少人数の探究活動をしながら成果を上げら れるようにしていきたい。
16	準備委員会で「他市からの入学者を増やしてほしい」という意見が あるが、地域だけではなく幅広い広報活動を工夫していかないと生徒 を集めることができないのではないかと思う。